

【栗原委員】

7月5日 市長との意見交換会 意見・質問

1、現在、武蔵野市で、支援が十分行き届いていない、あるいは支援の内容に課題がある、と思われるのは、どのような人たちであり、今後どのような支援が必要だとお考えですか。

2、コミュニティや地域の団体の高齢化と「疲れ」に対して、どのような取り組みが必要だと考えていますか。

ー自主的な取り組みをベースにそこを「支援」する、というあり方では限界があると思いますので、行政と市民との多様な「協働」を軸にした活性化が必要なのではないかと思います（対等な立場での「対話」の活性化とコーディネート）。

3、10年の計画ですから、「できそうなこと」に加えて、もっと「目指すべきこと」を書き込めると良いのではないかと思います。今はできなくても、「こういう武蔵野市にしたい」というビジョンについて、どのようにお考えですか。

ー例えば、インクルーシブ教育（社会的包摂）や駅前・駅圏のあるべき姿について、計画に具体的なビジョンを示して施策を進めるのが良いのではないかと思います。